土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　　主要地方道　大竹湯来線　道路改良事業に伴う測量設計業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　道路　構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県大竹市玖波			北緯	34° 15′ 10.80″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	令和04年08月29日～令和04年09月02日	東経	132° 13′ 38.55″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. -0.20 m	角度	0°	方位		地盤勾配	0°	使用機種	試錐機	東邦DO-D
総削孔長	16.00 m								エンジン	ヤンマーTF-90M型	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	-0.60	0.40		コンクリート		灰			地表のコンクリート															
1				礫混り砂	SG-F	黒灰～淡褐	rd3		細粒分をわずかに含む礫質砂層である。 固結度が非常に緩く指圧にて容易に崩れる。 礫は2mm～5mm程度を主体とし、亜円礫である。 礫は花崗岩礫を主体とする。			8.0	1.15 1.45	2	3	3	8 300			1.15 1.45	P1-1	－	比重含水粒度	
2												11.0	2.15 2.45	4	3	4	11 300			2.15 2.45	P1-2	－	比重含水粒度	8/30
3												13.0	3.15 3.45	4	4	5	13 300			3.15 3.45	P1-3	－	比重含水粒度	
4									下方ほど細砂が優勢となる。			13.0	4.15 4.45	4	4	5	13 300			4.15 4.45	P1-4	－	比重含水粒度	
5	-5.80	5.60										7.0	5.15 5.45	2	2	3	7 300			5.15 5.45	P1-5	－	比重含水粒度	
6				細粒分質砂	SF	黒灰	rd2		細砂を主体とする砂層でわずかに小礫を含む。 部分的に礫が少ない深度が存在する。 礫は花崗岩を基とする石英片の礫を主体とする。			7.0	6.15 6.45	2	2	3	7 300			6.15 6.45	P1-6	－	比重含水粒度	8/31
7												11.0	7.15 7.45	4	3	4	11 300			7.15 7.45	P1-7	－	比重含水粒度	
8												4.0	8.15 8.45	1	1	2	4 300			8.15 8.45	P1-8	－	比重含水粒度	
9												6.0	9.15 9.45	1	2	3	6 300			9.15 9.45	P1-9	－	比重含水粒度	
10									GL-12.6～13.0mは、礫を多く含む。			12.0	10.15 10.45	3	5	4	12 300			10.15 10.45	P1-10	－	比重含水粒度	
11												8.0	11.15 11.45	2	2	4	8 300			11.15 11.45	P1-11	－	比重含水粒度	
12												20.0	12.15 12.45	6	7	7	20 300			12.15 12.45	P1-12	－	比重含水粒度	
13	-13.20	13.00		玉石混じり砂礫		褐灰	rd4		花崗岩の玉石を主体とする玉石混じり砂礫層である。 玉石は花崗岩の岩片で礫径5cm～10cm程度が多い。 玉石は硬質でハンマーで割れない。			60.0	13.15 13.40	7	15	28 50	50 250	250						9/1
14												100.0	14.15 14.30	9	41		50 150	150						
15									玉石間のマトリックスは砂礫で構成され、ハンマーの軽打で崩れる。			50.0	15.00 15.00	貫入不能			50 0	0						
16	-16.20	16.00										50.0	16.00 16.00	貫入不能			50 0	0						9/2